

教育研修等 CNCP 行事活動の現況

昨年2月発行の本通信 Vol.10 に CNCP 教育研修活動の考え方と「(仮称)シニアパワーアップ研修」と題して、サービス提供部門の今後の方針を記した。それから1年が経つが、下部のこれまでの活動経緯表にある最初のシンポジウムの前年の平成19年秋に、土木学会での成熟シビルエンジニア活性化小委員会活動を立ち上げシビルNPOの議論をし出してから、もう8年余の歳月が流れたことになる。

そのうちのH26年8月からの薄く網掛した部分がNPO法人CNCPとして独立してからの教育研修活動であり、当面サービス提供部門として力を入れている分野の実績である。行事種別の欄にシンポジウム他いくつかの催し方の仕訳をしているが、その時々テーマに応じて異なった呼び方をしている。これらは原則的には次の2つに分かれる。

- ① 主催者から情報を伝える活動：シンポジウム、講演会、セミナー、シンポジウム
- ② 参加者が意見を交わし議論を展開する活動：意見交換、研究討論、シンポジウム、パネル討論

平成27年2月の理事会の後に開催された第1回の意見交換会で、思い付きではなく系統的・継続的にNPO法人会員のパワーアップを目指して、教育研修の機会を設けようとして企画、実施に移したのが①に類するCNCPパワーアップセミナーで、昨年は7月と11月に東京都と仙台で開催しており、それぞれ通信Vol.16と通信Vol.20でその概要を報告している。

研修コース案としては、(1)シビルNPO基礎講座、(2)シビルNPO運営実務講座、(3)市民活動コーディネーター養成講座、(4)対外広報セミナーを対象としたが、パワーアップセミナーとしては(3)について、内容的には以下の2点について、講演とワークショップの組み合わせで実施した。

- (1)「市民連携のスキルとは？～参加のデザインを学ぼう～」
- (2)「自治体への技術支援の可能性」

を識者による話題提供と、それに基づくワークショップ的な意見交換を行うという上記①と②とを織り交ぜてというやり方を試行錯誤している。6名の教育研修CNCP会員が月1回の委員会でいろいろ知恵を絞り、何とか根付かせて会員および次世代の仲間に引き継げればと念じている。

土木学会小委員会段階から現在のNPO「シビルNPO連携プラットフォーム」までの行事活動の経緯

年	月日	場所	行事種別	テーマ等
H20	5.14	東京	シンポジウム	「成熟したシビルエンジニア、その活性化に向けて」
H21	5.14	東京	シンポジウム	「“NPO活動” その多様な展開—シビルエンジニアに期待されること—」
H22	1.18 7.27	東京 東京	意見交換 シンポジウム	「新たな公とソーシャルビジネス」 「新しい公共、NPOそしてソーシャルビジネス—その土木界における位置づけと展開—」
H23	9.09	松山	研究討論会	土木学会全国大会「土木分野におけるNPO活動と土木学会の役割」
H24	4.14	東京	講演会	連絡協議会設立記念講演会
H25	6.24	東京	講演会	連絡協議会総会記念講演会
H26	8.01	東京	パネル	CNCP設立記念「シビルNPO事業のマーケット化を目指して」
H27	2.01 7.31 9.16 10.31 11.18 11.19	東京 東京 岡山 東京 仙台 仙台	意見交換会 セミナー・WS 研究討論会 講演会 意見交換会 セミナー・WS	CNCP意見交換会 第1回CNCPシニアパワーアップセミナー 土木学会全国大会「地域のインフラメンテナンスにおけるNPO等サードセクターの役割」(協力) CNCP総会路区別講演会「まちづくりと中間支援組織」 「シビルNPOの現状と今後を考えるラウンドテーブルミーティング in 仙台」 第2回CNCP市民パワーアップ・セミナー in 仙台